

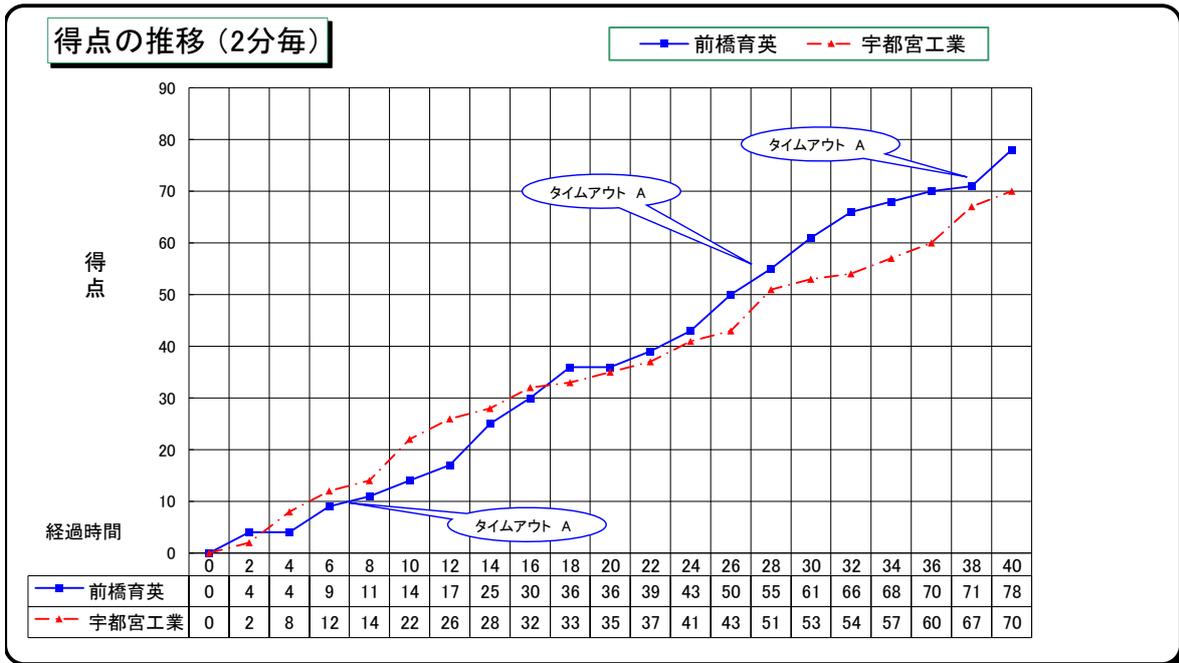
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜2回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第5試合 15:00～	
<チームA> 前橋育英 群馬		78 { 14 1Q 22 } { 22 2Q 13 } { 25 3Q 18 } { 17 4Q 17 }		<チームB> 宇都宮工業 栃木	
主審: 二宮 隆二(茨城) 副審: 木村 幸司(茨城)					

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	酒井 達也	9	1	2	2	2
◎	5	櫻井 啓翔	13		5	3	
◎	6	鎌田 菫之介	17	1	7		4
◎	7	渡部 豊	19	3	5		4
	8	萩原 皓介					
○	9	鎌田 隼人					1
	10	大谷 恭平					
	11	高橋 伸吾					
	12	柴多 亮					
◎	13	星野 代朔					1
	14	長谷川 明輝					
	15	田中 城					
○	16	瀧 稜太					1
○	17	相川 勇樹	11	3	1		
○	18	大山 将平	9		3	3	1
コーチ		加賀谷 寿					
合計			78	8	23	8	14

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	稲葉 康平					1
◎	5	鈴木 翔太					1
○	6	小林 大地					1
◎	7	ロンゴ・ダニエル	15		7	1	3
◎	8	深田 匠満	26		12	2	4
○	9	残間 巧人	4		2		2
◎	10	玉田 有輝	14	1	4	3	1
	11	廣橋 康之					
	12	阿部 夏也					
	13	瀬戸下 竜也					
	14	宮崎 和樹					
	15	打田 洋平					
◎	16	渡辺 翔太	11	2	2	1	2
	17	安納 駿					
	18	北條 大樹					
コーチ		千村 隆					
合計			70	3	27	7	15

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 笹沼 典人

第1P、前橋育英(以下前橋)はハーフコートマンツーマンで、宇都宮工業(以下宇工)は3-2ゾーンでゲーム開始。前橋は⑥鎌田のドライブインで先手点を奪う。対する宇工は1-2-2オールコートプレス仕掛け、前橋に激しくプレッシャーをかけ、前橋のミス誘い、連続得点に成功する。前橋は9-14となったところで、たまたまタイムアウトを請求する。前橋は⑩相川が3pを決めて同点とするも、再び宇工のプレスにつかまり、14-22の宇工8点のリードで第1P終了。

第2P、前橋はインサイドの⑤櫻井⑥鎌田を中心に気迫のディフェンスを見せ、宇工にリバウンドを取らせない。守りからリズムを掴んだ前橋は速い展開から連続得点を奪う。一方の宇工は、前橋の気迫のディフェンスに押され、24秒オーバータイムやオフェンスファウルを犯すなどオフェンスのリズムを失い、同点とされてしまう。それでも⑧深田がドライブインからバスケットカウントを奪い、3点差とする。しかし、勢いに勝る前橋は⑦渡部と⑥鎌田の連続3pで逆転に成功。36-35の前橋リードで前半終了。

第3P、両チームともマンツーマンでゲーム再開。互いに厳しいディフェンスからボールを奪い、得点を取り合う展開が続く。残り5分、前橋は⑩相川の3pで流れをつかむと⑥鎌田が2pシュートを決め、48-41の7点差とする。対する宇工は⑦ダニエルが負けじとゴール下を攻め連続得点で食い下がる。前橋⑦渡部が3pを決めれば、宇工は⑩玉田が3pを入れ返し、一進一退の展開となるも、61-53の前橋8点のリードで3P終了。

第4P、途中出場の宇工④稲葉が果敢にリバウンドに飛び込み、流れを呼び込もうと奮闘し、⑧深田⑩玉田がドライブインを仕掛けるも、なかなか流れは変わらない。リズムに乗れず、ディフェンスでファウルを重ねる宇工に対し、前橋は冷静に対応し、残り3分で70-60となる。宇工は2-2-1プレスを仕掛け、前橋のパスミスからボールを奪い、⑩渡辺の3pやドライブインで5点差まで詰めて、意地を見せるも、冷静にゲームをコントロールする前橋には届かず、78-70で試合終了。前橋育英が準決勝進出を決めた。